

総務委員会

開催日	令和3年12月9日
時間	午前9時30分～午前10時19分
場所	委員会室
出席議員	下堂 菌 稔、松川 秀康、岸本 洋美、八木 勝之 加藤 光則、岡山 克彦、野々部 享、大塚 祥之
欠席議員	なし
出席理事者	永田市長 葛谷副市長 河口企画部長 石黒企画部次長兼人事秘書課長 後藤企画部次長兼企画政策課長 岡田人事秘書課課長補佐 杉原企画政策課課長補佐 沢田企業誘致課長 岩田総務部長 飯田総務部次長兼財産管理課長 三輪総務部次長兼収納課長 檜本総務課長 服部財政課長 服部財政課副主幹 渡辺税務課長 下村収納課主幹 丹羽危機管理部長 舟橋危機管理課長 吉田会計管理者 平野会計課長 三輪監査委員事務局長 木全監査課長
関係職員	栗本議会事務局長 高山議事調査課長 鈴木議事調査課係長
議案または協議事項	1. 総務委員会付託案件
備考	傍聴者 3名

(時に午前 9時30分 開会)

総務委員会委員長 (下堂 蘭 稔君)

皆さん、おはようございます。

定刻となりましたので、今から総務委員会を開催いたします。

去る3日の本会議において総務委員会に付託となりました議案について御審議いただきます。
その前に市長から御挨拶を受けたいと思います。

よろしく申し上げます。

市 長 (永田 純夫君)

おはようございます。

今日はとてもいい天気になりましたけども、委員の皆様方には早朝より総務委員会の出席、大変御苦労さまでございます。

コロナの状況ですけども、御案内のように、本当に今、感染者数が激減をいたしておりまして、今のところほっとしているところがございますけども、新しいオミクロン株が出てまいりました。また、第6波は必ず来るとも言われております。そんな中の第3回目のワクチンの接種でございますけども、国のほうからは準備を進めるようにというふうに言われておりまして、今、準備を進めているところなんですけども、ここに来て2転3転してきておりまして、本当に対応に苦慮しているところがございますが、いずれにしても、どのような状況になってもしっかり打てる体制を整えてまいりたいと考えておるところでございます。

本日は付託されました案件につきまして慎重に御審議を賜り、御賛同をいただきますようお願い申し上げます。御挨拶とさせていただきます。

よろしく申し上げます。

総務委員会委員長 (下堂 蘭 稔君)

ありがとうございました。

傍聴者はおみえでしょうか。

議事調査課係長 (鈴木 栄治君)

一般傍聴者の方は1名おみえになります。

総務委員会委員長 (下堂 蘭 稔君)

傍聴を許可いたします。

それでは、始めます。

当総務委員会に付託された所管は、企画部、総務部、危機管理部、会計課、議会事務局及び監査委員事務局所管です。

それでは、議案第48号 令和3年度清須市一般会計補正予算（第8号）案所管分について説明をお願いいたします。

石黒次長。

企画部次長兼人事秘書課長（石黒 直人君）

人事秘書課、石黒でございます。よろしくお願いいたします。

私からは、一般会計補正予算における総務常任委員会所管の歳入歳出について、一括して説明をさせていただきます。

まず、歳入です。

8ページ、9ページをお願いいたします。

2段目になります。

15款国庫支出金、2項国庫補助金、1目総務費国庫補助金、補正額726万4千円の増額のうち1節総務管理費補助金379万5千円です。健康増進事業費補助金の新規計上です。歳出で説明する社会保障・税番号制度システム費に充当する特定財源です。

続きまして、一番下の段になります。

18款寄附金、1項寄附金、2目ふるさと寄附金、補正額5千万円の増額、1節ふるさと寄附金です。

歳入につきましては以上でございます。

続きまして、歳出について説明をいたします。

10ページ、11ページをお願いいたします。

1款議会費、1項議会費、1目議会費、補正額12万1千円の減額、2節給料から4節共済費で、職員人件費の減額でございます。

続きまして、その下の段、2款総務費、1項総務管理費、1目一般管理費、補正額683万6千円の減額、1節報酬から12節委託料までで、職員人件費の減額と人事管理費、育休等人材派遣費の増額でございます。

4目会計管理費、補正額1万2千円の増額、4節共済費で、職員人件費の増額でございます。

5目財産管理費、補正額1億144万5千円の増額、1節報酬から24節積立金までで、職員人件費の減額及び基金管理費の増額でございます。減債基金費の増額714万5千円及び義務教

育施設整備基金費の増額1億円は、今後の財政需要を考慮し、それぞれ積み立てるものです。福祉基金費の増額13万円は、特定寄附による積立てです。本補正後のそれぞれの基金の現在高は、減債基金は5億159万4千円、福祉基金は9千184万円、義務教育施設整備基金は2億543万6千円です。

6目企画費、補正額2千432万4千円の増額、7節報償費から12節委託料までで、元気な清須ふるさと応援費の増額です。

7目電算管理費、補正額594万円の増額、12節委託料で、社会保障・税番号制度システム費の増額です。

10目交通防犯対策費、補正額2万9千円の増額、1節報酬で、職員人件費の増額でございます。

続いて、一番下の段、2項徴税费、1目税務総務費、補正額300万6千円の減額、1節報酬から4節共済費までで、職員人件費の減額でございます。

12ページ、13ページをお願いいたします。

2番目の段になります。

6項監査委員費、1目監査委員費、補正額128万3千円の増額、2節給料から4節共済費までで、職員人件費の増額です。

20ページ、21ページをお願いいたします。

9款消防費、1項消防費、2目非常備消防費、補正額80万4千円の増額で、2節給料から4節共済費までで、職員人件費の増額です。

4目防災対策費、補正額151万8千円の増額で、1節報酬と3節職員手当等で、職員人件費及び災害対策費の増額です。災害対策費は、新型コロナウイルス感染症に係る公共施設の消毒作業に従事した職員に対する特殊勤務手当の増額です。

以上が、総務常任委員会所管の歳入歳出の説明でございます。御審議のほどよろしくお願いいたします。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

ありがとうございました。

それでは、歳入の8ページ、9ページ、質疑のある方、挙手をお願いいたします。

（ 「なし」 の声あり ）

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

歳出のほう、10ページ、11ページ。

加藤委員。

加藤 光則委員

加藤です。

まず、職員の人件費について、総務の関係でいろいろ今、説明がありました。減額ということであり、今回の補正に当たってですね、一般職の給与が8千366万円、それから会計年度任用職員の報酬等が5千621万円、トータルで減額ということになっておりましたが、総務の所管の部分での減額についての中身、もう少し詳しく教えていただければと思います。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

石黒次長。

企画部次長兼人事秘書課長（石黒 直人君）

人事秘書課、石黒でございます。

主にですが、共済組合の負担金の率の変更による減額と昇給・昇格・異動による減額になります。

あと会計年度につきましては、勤務時間数が減少したものが主な要因となっております。

以上でございます。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

加藤委員。

加藤 光則委員

ありがとうございました。

職員のほうは共済の率の変更と会計年度は勤務時間の変更だということを言われたわけであり、それで、あえてお伺いします。令和2年度からでしたか、会計年度任用職員の制度が開始されている職員の数も変わってきたと思います。しかし、先般、類似自治体との職員の比較で、実際少なかったから増やすんだということも言われたわけであり、

そこで、お聞きしますが、総務の関連でいえば、令和2年度は、総務が職員数が83人だったかな。税務が28人ということで報告がされておったんですが、今、令和3年度に当たって総務の関係の職員数というのはどういう実態にあるのかお聞きします。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

岡田さん、どうぞ。

人事秘書課課長補佐（岡田 善紀君）

人事秘書課、岡田です。

当初予算と比較しますと特に変更はございません。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

加藤委員。

加藤 光則委員

分かりました。

予算的にはそのところは変更がないということでありました。職員の人数がもし今、分かれば、総務の関係はどれぐらいの現状人数なのか教えていただきたい。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

石黒次長。

企画部次長兼人事秘書課長（石黒 直人君）

総務費の一般管理費での人数は71人です。税務管理費のほうは28人になっております。監査費のほうは3人になっております。消防費のほうは7人になります。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

加藤委員。

加藤 光則委員

分かりました。ありがとうございました。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

ほか、ございませんか。

岸本委員。

岸本 洋美委員

今、加藤委員が聞かれたところで、重なるかも分かりませんが、今、加藤委員は総務関係だけお聞きになったんですが、ここは人事のほうを持っていらっしゃるの、全職トータルでお聞きしたいんですけども。約1億4千万円の減額、毎年12月になれば職員のこうした減額の補正が出るわけですけども、課によっては増えたり減ったりとかあったり、人事異動ということなんで

すが、1億4千万円というのが私たちのほうから見ると人事異動であっても、ある程度、今年度は退職者、入る人、大体分かるでしょうと思うんですが、こんなにも金額が変わってくるものなのかと、当初の見立てより1億4千万円で。ざっくりな話ですけども、その辺の御所見といたしますか、展開といたしますか、教えていただけますか。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

石黒次長。

企画部次長兼人事秘書課長（石黒 直人君）

人事秘書課、石黒です。

主立ってはですね、育児休業取得及び休職者等による減額が1億800万円ほどになっております。こちらの分が大きかったかなというふうに思っております。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

岸本です。

保育士の関係だと思うんですが、そういったところも1億円から変わってくるということの見通しというか、大体、保育の預かる人数、このくらい職員の人数が要るとか分かると思うんですね。そういうのもそんなに大きな金額の変動があるものなんですか。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

石黒次長。

企画部次長兼人事秘書課長（石黒 直人君）

新規の育児休業者が本年度が14人おまして、この分がかなりの金額になっておるかと思っております。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

ということは、新規ということは入れるときには会計年度の方を入れるとか、そういうことですか。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

石黒次長。

企画部次長兼人事秘書課長（石黒 直人君）

基本的には育児休業代替につきましては、人材派遣を考えておまして、今、言った14人のうち何人かは充てることができておりますし、また、これから充てる予定もしております。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

金額的にはそんなに変わるものなんですか、報酬的に。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

岡田補佐。

人事秘書課課長補佐（岡田 善紀君）

人事秘書課、岡田です。

育児休業者については若年層の職員が多いことにはなりますが、1人当たり単価をおおよそ400万円から500万円と見込んでおまして、それで14人減額になりますとかなり大きな減額になると思います。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

積算が色々あったと思うんですが。では、やっぱり毎年この時期になるとこうした1億円前後になるのか、やむを得ないと、そういうふうに石黒次長はお考えですか。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

石黒次長。

企画部次長兼人事秘書課長（石黒 直人君）

育児休業に関していいますと、やはり前もって分かるということは少ないものですから、やむを得ないかなというふうに考えております。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

全般的にはどうですか。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

石黒次長。

企画部次長兼人事秘書課長（石黒 直人君）

育児休業を含んで病気休職等もありますので、そういったところはどうしても事前に把握という事は難しいかと思っております。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

分かりました。

続けてよろしいですか。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

ほかにございませんね。

岸本委員、どうぞ。

岸本 洋美委員

では、下段の企画費、元気な清須ふるさと応援費のところでお尋ねいたします。

ふるさと寄附金のほうですが、今回5千万円、補正を組まれたんですが、このことについて詳しくお聞かせください。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

後藤次長。

企画部次長兼企画政策課長（後藤 邦夫君）

企画政策課、後藤でございます。

今回、当初予算に比べてほぼ倍額を補正ということで上げさせていただきましたが、やはり一番の理由は、人気のある返礼品がこちらの予測以上に御要望がありまして、こちらの見込みよりもかなりふるさと納税していただけてるという認識の上で、今回このような補正を計上させていただいたということでございます。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

人気の商品と今現在の件数を教えていただけますか。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

後藤次長。

企画部次長兼企画政策課長（後藤 邦夫君）

こちらの人気の商品というのは、一番搾りの糖質ゼロという商品なんですけども、今回2ケースのものにつきましては、11月末で既に1千52件御要望いただいております、こちらの寄附金額が3千500万円、既に御協力をいただいておりますという状況になっております、350mlの1ケースと500mlの1ケースを合わせますと寄附金額が4千257万5千円、全体で見ますと、この商品が72.4%占めておるといような状況でございます。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

ふるさと寄附金が増えているということは本当にありがたいといえますか、うれしいことだと思えますけど、1点、令和2年度の決算で当初が2千万円で、補正を組んで決算が6千300万円でございます。今回倍額の1億円ですけど、こういった予算のときの見通しというのは難しかったんですか。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

後藤次長。

企画部次長兼企画政策課長（後藤 邦夫君）

昨年の10月からこの商品は寄附のほうの返礼品に挙げさせていただきました。昨年半年ではほぼ4千万円近く御協力のほうをいただいた中で、今年も続けてそのような好調さを維持できるかどうかというところの見通しにつきましては、正直なところ弱気になっところがあります。ただ、実際このよううれしいことがありましたので、今後は、この商品ばかりが本当に堅調に出ていくかどうかというのは、先行きは分かりませんので、そこら辺のところは世の情勢を見極

めながら予算の計上はしていきたいというふうに考えております。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

よろしく申し上げます。

もう1点、よろしいですか。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

どうぞ。

岸本 洋美委員

11ページのさっきの基金管理費のところで減債基金、義務教育基金、減額になった分で基金に積み立てたよということだと思んですが、全基金の合計金額と財調の残高を教えてください。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

当局、答弁。

財政課長（服部 浩之君）

財政課長、服部でございます。

基金残高、令和3年度12月補正後で一般会計基金の合計額は43億3千720万6千円となっております。このうち財政調整基金につきましては23億1千997万8千円でございます。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

これは当初の大体、今年度、令和3年見通しとしての基金の目標というのはどうなんですか。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

服部課長。

財政課長（服部 浩之君）

財政調整基金につきましては9月補正予算におきまして決算剰余金等を活用いたしまして、財政運営上の目標としております金額はクリアしております。

全体につきましても、当初の見込みどおり、想定範囲内にあると、今、考えております。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

堅実な財政運営に期待しております。

もう1点、よろしいですか。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

どうぞ。

岸本 洋美委員

21ページの災害対策費、災害対策活動費ということで106万円計上されております。先ほど新型コロナの感染の件で公共施設の消毒ということで、本当に大奮闘されていることに敬意を表しますが、もう少し具体的に、これまで学校関係とかあったんですが、トータル何件ぐらい出動されたとか、もう少し詳細が分かれば教えてください。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

舟橋課長。

危機管理課長（舟橋 監司君）

危機管理課、舟橋でございます。

令和3年度につきましては、トータルで10件出動がございました。

以上でございます。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

1回行かれて何人ぐらいで、時間的にもどのくらいを要するものなのでしょうか。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

舟橋課長。

危機管理課長（舟橋 監司君）

1回10名程度になりまして、時間的には2時間から3時間程度となります。

以上でございます。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

今回出ているのはそれを積み上げた金額でしょうか。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

舟橋課長。

危機管理課長（舟橋 監司君）

おっしゃるとおりでございます。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

その中で、本当にこれは大変だったとか、苦労したとか、そういったことがありましたでしょうか。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

舟橋課長。

危機管理課長（舟橋 監司君）

当初は非常配備班の方に出動していただいているわけなんです、やはり勝手が分からずなかなか時間もかかったところでございますが、2回目以降になりますと皆さん慣れていただいて、スムーズに業務は運べたと思います。

以上でございます。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

岸本委員。

岸本 洋美委員

ありがとうございました。以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

加藤委員。

加藤 光則委員

今、私も質問するところが重なります。

まず、上からいくと、基金についてお聞きします。

今回、減債基金がここではお伺いしたいわけではありますが、減債基金というと最終金額、全額一括で返すという積立てだと思っただけですけども、本市の減債基金、大体5億円ぐらい保つとかないかんという認識でよろしいのかまず伺います。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

服部課長。

財政課長（服部 浩之君）

本市の減債基金につきましては、満期一括方式の市債は借り入れておりませんので、将来の償還費に充当するために積立てをしておるものになります。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

加藤委員。

加藤 光則委員

その上で将来に当たってですね、「今後の財政事情を考慮し」という説明がありました。先般、全協の後に中期の財政の試算を配られました。令和2年度と3年度を見比べると、今年もらったやつを見ると、特に市債残高の推移のところ若干増えておったわけですが、この辺についてはどのように試算されたのか伺います。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

服部課長。

財政課長（服部 浩之君）

この試算につきましては、現状で借り入れている起債、それから今後3年間に借入れを予定する事業から推計したものをシミュレーションいたしまして、各年度の市債残高、それから公債費という形で推定をいたしたところです。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

加藤委員。

加藤 光則委員

その辺で改めて伺います。減債基金ですね、事情を考慮してということだと思んですけど、大体どれぐらいを払うつもりで毎年考慮されておるのかということをお聞きしたいなと思います。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

服部課長。

財政課長（服部 浩之君）

近年、やはり建設事業を多くございまして、市債の額も大きくなっております。公債費のほう

も毎年毎年増えておりまして、令和3年度におきましても、財源対策として2億円を減債基金から繰り入れております。今後も同程度の額を繰り入れて財源のほうを確保していきたいと考えておりまして、できる限り多く積みれば一番いいんですけども、そのあたり、機会を捉えて少しずつでも積立てをしてまいりたい、このように考えております。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

加藤委員。

加藤 光則委員

分かりました。

基金のほうについては災害とかいろんなことがあるものですから、そちらの本元の基金も大体20億円ぐらいということをおっしゃられたわけでありまして。それで減債基金についても財政事情を考慮しながらということで、先ほど2億円ということをおっしゃられたんですが、いろいろ今後、返す金も増えるだろうということで、5億円ぐらい積みたるとということをお聞きしました。しっかり財政運営をやられとると思いますけれども、どうしても借金も増えておりますので、その辺しっかりやっていただきたいということをお聞きします。

続いて、元気な清須ふるさと応援費、そこで改めてお聞きします。

ビールの返礼品、72.4%ということで先ほどおっしゃられました。平成19年度の6月から返礼品の調達割合30%以下にするんだよというようなルールが行われているわけでありまして、本市の返礼品の調達割合というのはどんなものになつとるんでしょうかね。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

後藤次長。

企画部次長兼企画政策課長（後藤 邦夫君）

企画政策課、後藤でございます。

あくまでも国のルールに沿って調達品は寄附金額の3割以内ということで進めさせていただいております。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

加藤委員。

加藤 光則委員

このふるさと納税が清須市にとって有意義なものになるためには、全国的に言われておるのは、

一つは、ふるさと納税の経費割合を下げしていく。それから、もう一つは、納税の受入れ寄附金額を増やしていく、この2つをどう進めていくかということがこの制度に基づいて今、言われとるわけでありましたが。今回の内訳を見ると、報償費が1千690万円、需用費が49万円、委託料が692万円、これが経費を上げられておるわけですがけれども、その辺の中身、今回三つ上がっている内訳というか中身、お聞きしたいと思います。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

後藤次長。

企画部次長兼企画政策課長（後藤 邦夫君）

まず、報償費は、基本的にはポータルサイト、こちらにお支払いをする金額が13.2%ございますので、そこが一番大きな金額になると、あとは返礼品の送料が報償費のほうからの支払いになりますので、この2点が大きな支払いになるということになります。

消耗品につきましては、今回も返礼品を送り返す段ボールですね、そちらのほうと包装紙を消耗品のほうでは計上させていただいております。

事務委託につきましても、ポータルサイトにお支払いする金額と証明書を発行していただくもの、寄附金控除を受けていただく証明書を発行していただくものの、発行の委託料を支払わさせていただきますということでございます。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

加藤委員、すみません、傍聴者がお見えになったらしくて、入室を許可します。

後藤次長。

企画部次長兼企画政策課長（後藤 邦夫君）

訂正させていただきます。申し訳ございません、誤りがありました。

報償費は返礼品で、事務事業委託料にポータルサイトにお支払いしとる13.2%が含まれます。

以上でございます。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

加藤委員。

加藤 光則委員

分かりました。

先ほどふるさと納税の経費割合を下げていくと、寄附金額を増やしていくというところで非常に苦労されとると思います。ポータルサイトというのは全国的にやられ、13.2%、これは大体そんなもんなんですか。結構高いですけど。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

後藤次長。

企画部次長兼企画政策課長（後藤 邦夫君）

数あるポータルサイトの中でうちが今、利用させていただいておところが、ポータルサイトの利用料としては一番低かったということで採用させていただいています。実際には12%、それプラスの消費税ということで、13.2%をポータルサイトのほうにお支払いをしておるといいう状況でございます。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

加藤委員。

加藤 光則委員

あともう1点、72.4%がビールだったということで、全国的に見るとやっぱり輸送代というのは結構かかるんだと思いますけれども、ビールという重いわけですよ。この辺の輸送費というのはいろんなものと比べてどうですかね。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

後藤次長。

企画部次長兼企画政策課長（後藤 邦夫君）

重さで料金が変わってきますけども、本市といたしましては経費率が5割以内ということになっておりますので、そちらも考慮しながら返礼品の金額等もやらさせていただいておるのが実際のところでございます。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

加藤委員。

加藤 光則委員

分かりました。しっかり取り組んでみえるということが分かりましたので、引き続きやっていただきたいなと思います。

続けていいですか。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

どうぞ、加藤委員。

加藤 光則委員

その下の電算管理費のところでお聞きしたいと思います。

まず、今回、委託料594万円について、これ中身は何に使うのかお聞きしたいと思います。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

後藤次長。

企画部次長兼企画政策課長（後藤 邦夫君）

企画政策課、後藤です。

まず、今回の改修の中身につきましては、がん検診を含めました検診事業の関係の改修になっております。細かい内容をいいますと、2つ事業がございまして、一つは検診結果等の様式の標準化整備、これは今、各市町村で検診結果の様式が異なっておりますので、その様式を標準化することによって一元的な管理を国が行っていくということで、まず、様式の整備を行います。

もう1つは、検診情報の連携システムの整備のほうになります。こちらはマイナンバーカード及びマイナポータルを利用して、検診を受けられた個人の方が自らの検診結果を利用して見られるようにするという連携システムの整備になっております。基本的には、清須に住んでみえる方が清須市のものを見るということもできるんですが、例えば、転入転出があった方につきましては、その転入先、転出先のものも自分のマイナポータルから全て確認ができるようにするということで、来年を目指して改修を進めようとしておるところでございます。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

加藤委員。

加藤 光則委員

マイナポータルということで、今回のこの補正については、がん検診等、健康管理のところで一元化で連携していくんだということを今、説明されました。マイナポータルというと、アカウントを作成してマイナンバーカードとパスワードでアクセスしていくということになるのかと思うわけですが、行政によるマイナンバーが活用されている自治体情報で利用状況を確認できたり、発行番号にひもづけられるわけでありましたが、一番危惧されるのは、自分の個人情報が

どう閲覧されたかとか、どういうふうにかこれが見られとるのか、個人情報についての危惧があるわけですが、その辺というのは今どういうふうに進められておるのかお聞きしたい。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

後藤次長。

企画部次長兼企画政策課長（後藤 邦夫君）

まず、個人情報につきましては、当然のことながら個人自らしか見ることができません。ただ、情報連携の内容の中で各市町村がその情報を閲覧することも可となっております。ただし、この情報を各市町村が見られた場合は、その情報を何々市町村が見たという情報は個人に全て通知されることとなっております。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

加藤委員。

加藤 光則委員

しかし、そういう危惧が国民の中に一番多いわけですけれども、この番号法の附則の設置既定だけしか法的規定がなく、利用制限など特段の規定が今ないということも1つあるわけであります。

その上で、行政機関が持つ個人情報ですね、本人が見ることができるということイコール、ある意味、ほかの人も見ることも可能だということにもなってくるわけですけれども。その辺での法的整備が同時にですね、法的整備とともに制度や設備を含めた同時進行で進められておるのかというのが非常に危惧するわけであります。

現在進められている行政のデジタル化を推進すること自体を目的化してしまっていて、このデジタル化自体のために今、非常に懸念されている、障害となり得る個人情報保護制度の在り方、この根本を軽視というか転換して、その保護の在り方を弱体化させる、こういうおそれも強く、危惧されるわけであります。

この情報セキュリティの問題というのは大きいと今、言わざるを得んと思うんですよ。これを進めていくというところが集中的には、その辺についての懸念というのは、現場の自治体の職員として、どういうふうを受け止められておるのかお聞きしたいと思います。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

後藤次長。

企画部次長兼企画政策課長（後藤 邦夫君）

本年、デジタル庁が国のほうで整備されました。やはりそこを中心に今後デジタル化の推進及び個人情報の取扱いについては議論がなされるところだというふうに認識しております。

ただ、今、清須市の状況をお話いたしますと、基本的にはセキュリティについては愛知県のセキュリティクラウドを利用しています。そこで、今度は国がガバメントセキュリティクラウドということで、国がイニシアティブを取って、そこら辺のセキュリティは整備をされるというふうに我々は認識しております。法整備につきましても個人情報等の取扱いについては大きな改正がなされる予定だというふうに伺っておりますので、そちらのほうの改正も注視しながら、当然のことながら、セキュリティ対策は万全にしていきたいという考えはぶれておらんところだというふうには認識しております。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

加藤委員。

加藤 光則委員

この間ずっと私も言わせていただいておりますけれども、デジタル化自体は便利になることは非常にいいことだと思うわけですが、併せて、個人情報の保護を含めた様々な課題が後回しになつとるんですよ。ですから、そちらを先にやるべきだということを私は言つとるわけでありまして、現在進められておる行政のデジタル化は推進すること自体を目的化して、こういった重要なことは後づけになつとるわけですから、ぜひ、その辺を声を上げていただきたいということを申し述べて、私はこの問題については反対という立場を取らせていただきたいと思うんです。

そこで、改めて、デジタル化における企画課所管のことについて若干お聞きしたいと思います。

今年度、既にデジタル化に向けた様々な準備がされてきたと同時に、これまで行われているシステムに対する経費というのは非常に大きなものだったと思います。私も改めて企画政策課の所管するデジタル化のシステムのところの金額を見せていただきました。大きく分けて、内部情報系のシステムと、それから住民情報系のシステム、ここの2つに分かれると思います。内部情報系のシステムについては公になつとるから言いますけど、日本電子ということで、これが今年度、随意契約が1千700万円、それから住民情報系システム、これはNECですけれども、3つの部門が分かれとるのかな。そこでかなり膨大な金額が出されておるわけですが、今回の対応業務

というのは、そのうちの、この間、行われていた税制改正とか、いろんなどころの、例えば、この夏に標準化に合わせる改修も行われたところがあるわけですが、今回の部分についても標準化システムの移行経費、金額があるわけですが、当初はこの間を見ても莫大な金額があるわけですので、国のほうは10分の10を国費で補助するというようなことを当初言っと思ったと思うんですけども、この間の夏以降の話でいろいろ注釈つけてあったわけですが。これについては今後17事業いろいろ標準化して進められるわけですが、この補助率というのはどういふふうになっていきそうなんですか。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

後藤次長。

企画部次長兼企画政策課長（後藤 邦夫君）

今、多分、共通化の話だと私、認識しとるんですけども、そちらの共通化のシステム改修等につきましましては、現段階では10分の10だというふうに我々は認識しております。これは住民情報系の話でありまして、内部情報系につきましましては、基本的には市町村独自の形になりますので、今回は補助がつくということは考えづらいかなと。前は強靱化の関係で補助がついたんですけども、今回は強靱化の関係で補助がつくとは考えづらいもんですから、内部情報系については補助は難しいのかなというふうに考えております。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

加藤委員。

加藤 光則委員

内部情報と住民情報の関係があるわけですが、今後いろいろ改善していく上で、内部情報と住民情報システム系については業者も違うわけですが、先ほど一元化、連携ということになると、もともと清須市独自で優れたものも標準化なり一元化していくと、横出しの部分とかいろん部分でまた金額もかなり変わってくるのか、それを全部標準化に変えろというのは知りませんが、その辺での課題というのはどう考えられとるんですか。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

後藤次長。

企画部次長兼企画政策課長（後藤 邦夫君）

まず、基幹系、いわゆる住民情報系の関係なんですが、こちらは国が令和7年度までにクラウ

ド化をしろと、システムも標準化しなさいよという話が出ております。当然、システム標準化をしてクラウド化をすることによって、今、内部でやっている作業が外へ持ち出す形にはなりません、実際クラウドに置くことになりますので。ただ、実際には今うちが御協力願っておるベンダーにシステムの保守部分についてはやっていただく必要があると思っておりますので、そこら辺につきましましては変わらずやっていくのかなというふうに思っています。

内部情報系につきましましては、日本電子計算で今年まではやっておるんですけども、こちらの業者が撤退意向がありますので、また来年度、違う業者が変わる予定を今のところしてありますが、まだ、そこら辺は詳しくは決まっておりませんので。ただ、今の日本電子計算が撤退意向だということだけは今、情報として持っていますので、その辺につきましましては、また今後進めていく必要があるかなというふうに考えております。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

加藤委員。

加藤 光則委員

デジタル庁ができていろいろなことが標準化なり一元化なり、いろんなことで変わってきている中で、内部情報系の今までやっていた日本電子が撤退だと。そうすると、これは随契でずっとやられてきているわけですので、NECがかなりの額を持ってみえるんですが、今、言われたからもう一度聞きますが、そうすると、例えば、住民情報ネットワーク機器の賃借、これはまた違う業者に払われとるんですね。たしかこれは三菱。で、日本電子がどうなるか分かりませんが、いろいろなシステムの関係で業者が違ってくると、一元化だ、連携だという中で、どういうふうにそれが一元化されていくのかなと思うわけですね。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

後藤次長。

企画部次長兼企画政策課長（後藤 邦夫君）

今、委員がおっしゃってみえるのは、多分いろんな業者という話なんですが、まず、内部情報系の話をしますと、基本的には日本電子計算のシステムを使用していますので、そちらは内部情報については今、財務関係にしてもグループウェアにしても日本電子計算のシステムを使って保守料を支払っておる形です。

三菱等につきましましては、いわゆるパソコンですね。端末の機械のリース会社になりますので、

リリースについては入札を行って、いろんな業者が入ってきます。ですので、いろんな業者が入っているのはあくまでも端末の話でありますので、基本的にシステムについては1つの業者でやっておるといのが我々の認識であります。

今度、基幹系の話なんですけども、基幹系につきましても、基本的には今、言っている17業務の大部分がNECのシステムを利用させていただいておる。ただし、それにぶら下がる個々のシステムが数本ありまして、それについては若干違う業者のシステムがついてるところがありますけども、これも今後、共通化に向けて一元化する必要があるのではないかというのは、今、検討段階に入っておるところでございます。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

加藤委員。

加藤 光則委員

本当に今いろんな意味でデジタルのところは、担当課にとっては本当に目まぐるしい変化の中での対応というのは大変だと思います。政府はスマート自治体の実現を掲げてこれをどんどん進めているわけですが、言われておるのは、その柱は半分の職員数で担うべき機能が発揮される自治体への転換だと、こういうことを掲げてみえるわけでありまして。しかし、職員を減らしたって、莫大な費用が、毎年ランニングコストだけでもものすごいかかると思うんですよね。自治体というのは住民福祉の向上のために独自に実施している様々な業務があるわけでありまして、行政の効率化などを理由にいろいろところで削減されておるわけですが、しっかり住民の暮らしや福祉、先ほど言われた災害や公衆衛生の問題等々、いろんな課題があるので、そういう面から公的基盤をしっかりと保っていただいて、その上で情報セキュリティの面からもしっかりと対応をされるということを訴えさせていただいて、この質問を終わりたいと思います。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

後藤次長。

企画部次長兼企画政策課長（後藤 邦夫君）

先ほど私、日本電子計算撤退と申し上げましたけれども、実は日本電子計算自体のシステムをもうリリースしない。ただ、日本電子計算自体は他社のシステムを持って営業活動は行われます

ので、実際には撤退という表現は正しくなかったと思いますので、ここで訂正させていただきます。

以上です。

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

ほか、質問ございませんか。

よろしいですか。

（ 「なし」 の声あり ）

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

これで質疑を終わります。

令和3年度清須市一般会計補正予算（第8号）案所管分について採決をいたします。

原案に賛成の方の挙手をお願いいたします。

< 挙 手 多 数 >

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

ありがとうございます。

賛成多数でございます。

よって、議案第48号 令和3年度清須市一般会計補正予算（第8号）案所管分については、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上で、総務委員会に付託されました議案についての審議は終了いたしました。

なお、従来どおり、常任委員会の閉会中の継続審査の申出をすることに御異議はございませんでしょうか。

（ 「異議なし」 の声あり ）

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

異議はございませんので、議長に閉会中の継続審査の申出書を提出いたします。

また、委員長報告につきましては、正副委員長に御一任いただけますでしょうか。

（ 「異議なし」 の声あり ）

総務委員会委員長（下堂 蘭 稔君）

異議ございませんので、そのようにさせていただきます。

これをもちまして、総務委員会を閉会いたします。

早朝よりお疲れさまでございました。

(時に午前10時19分 閉会)

清須市議会委員会条例第29条第1項の規定により、ここに署名する。

令和3年12月9日

総務委員会委員長 下 堂 蘭 稔